

ペガちゃんフロ10「集団宿泊活動に向けて」(事前出張指導)【特別活動】

ねらい	本プログラムは集団宿泊活動における事前学習として、当所の出前講座用活動プログラムに位置付けられており、小学校学習指導要領（平成29年3月改定）第2章特別活動の目標―第4節学校行事―2学校行事の内容を―(4)遠足・集団宿泊的行事と関連付けたプログラムである。 自然の家の施設の利用の仕方や体験活動の意義を学ぶことで、校外における集団生活の在り方、公衆道徳などについて理解し、児童生徒の集団宿泊活動への意欲を高めることをねらいとしている。
概要	当所職員が、学校に出向いて、TTによる学習形態で行う。自然の家での生活や施設について説明し、集団宿泊活動への意欲を高める。
よさ	○ 職員と顔を合わせることで、施設や職員に親しみをもつことができる。 ○ 施設の使い方について事前に知ること、見通しをもって、集団宿泊活動に臨むことができる。

○ 校 種 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校等

○ 教 科 特別活動

○ 事前の準備 (自然の家)： パソコン（施設のスライド）、プレゼン資料（テント）

(学 校)： 長机、スクリーン、プロジェクター、延長ドラム

※ 20日前までに講師派遣申請書（2部）を提出する。

○ 展 開 (例) ※PTAでの説明会に参加するという形でも可能。

過程	主な学習活動 ※ () …指導者	単 位 (分)	指導の手立て
導入	1 学校や学級（学年）のことを紹介する。（児童生徒） 2 集団宿泊活動の目的や意義について確認する。（引率者） 3 本時の学習問題を確認する。（引率者）	5	目的や意義（例） ・ 校外の豊かな自然や文化に触れる体験を通して、学習の充実を図る。 ・ 教師と児童相互の人間関係を深め、よりよい人間関係を築く。 ・ 基本的な生活習慣や公衆道徳の体験を積むことで、集団生活の在り方について考え、実践する。
展開	宿泊学習を進める上で、どんなことを大切にすればよいだろう。 4 自然の家についての話を聞き、（自然の家職員）集団宿泊活動の目標を立てる。（引率者） 〈例1〉施設の様子についての話 →施設の使い方で気をつけることを考える。 〈例2〉大事にしてほしい3つのキーワードの話 →集団宿泊活動における生活面の目標を立てる。 〈例3〉各係の役割についての話 →役割分担をし、自分の係についての目標を立てる。 〈例4〉テント設営についての説明 →テントを実際に立てる。	25	○ 話の内容については、学校の要望に合わせて決定する。 ○ 施設の様子についてスライドで見せることで、その場所で留意すべきことに気づけるようにする。 ○ 「元気なあいさつ」、「時間を守る」、「心のリレー」について所員の話聞き、自己の成長について意欲を高めることができるようにする。 ○ 各係の役割を知ること、集団のために貢献しようという態度を身に付けられるようにする。 ○ テント設営について知ること、自分のことは自分ですとしようとする態度を育むことができるようにする。
終末	5 質疑応答をする。（自然の家職員） 6 集団宿泊学習当日までに、取り組んでおきたいことについて、目標を設定する。（引率者）	10 5	○ 質問に答えることで、児童生徒が安心して活動に臨めるようにする。 ○ 今日から取り組めることについて目標を設定することで、集団宿泊学習に意欲的に臨めるようにする。